

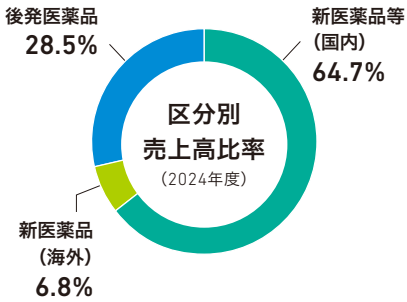
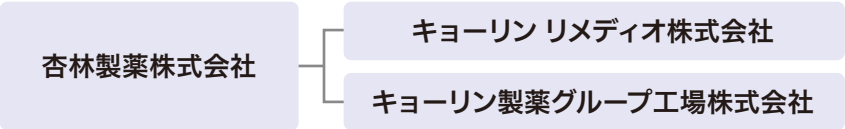
キョーリン製薬グループの全体像

当社グループは、事業持株会社である杏林製薬とその子会社であるキョーリン リメディオ、キョーリン製薬グループ工場によって医療用医薬品を主とする医薬品事業を展開しています。新医薬品事業では、オリジナル新薬の創製、医薬品の開発、生産、販売を行うとともに、環境衛生や感染症診断に関わる製品、一般用医薬品等を販売しています。後発医薬品事業においては、後発医薬品の自社開発、生産、販売を行っており、新医薬品事業との連携により高品質かつ信頼性の高い製品の安定供給に努めています。

財務ハイライト(2024年度実績)

売上高 1,300億87百万円	営業利益 125億67百万円
親会社株主に帰属する当期純利益 90億86百万円	研究開発費 105億14百万円
設備投資額 61億53百万円	EPS(1株当たり当期純利益) 158.17円
ROE(自己資本当期純利益率) 6.8%	1株当たり配当金 57.00円 (うち、特別配当5.00円)

キョーリン製薬グループ



非財務ハイライト(2024年度実績)

新薬比率^{※1} 53.8%	特定領域におけるMR総合評価^{※2} 呼吸器内科 6位 耳鼻咽喉科 1位 泌尿器科 5位
エンゲージメントサーベイ 「働きがい」スコア^{※3} 4.53	女性管理職比率 9.5%
男性育児休業取得率 51.9%	健康診断 受診率 100% ストレスチェック 受検率 99.2%
CO₂排出量削減率 対2015年度比^{※4} 27.7%	取水量 261千m³

※1 国内医薬品(ロイヤリティー除く)の売りに上げに占める新薬の比率
※2 インテージヘルスケア(Rep-i)による調査(2024年)
※3 社員の働きがいに関わるアンケート(自社内で実施)。7段階評価の回答を最高点7として得点化
※4 Scope1 + Scope2